

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書
並びに財産目録の承認について
事業報告書
(第 56 回)

自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日

1. 事業概要

令和 5 年度は、甚大な被害を受けた東日本大震災から 13 年が経過し、復旧整備された圃場では新たな園芸振興が行われ、生産の安定化が図られている。

一方で、燃料高騰で生産資材価格は上昇となり、園芸農家の生産費上昇に大きく影響を受けて青果物を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。

消費動向は、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行となり、落ち込んだ観光事業や外出消費は徐々に回復基調となった。家計消費は、円安と食料品の価格上昇で節約志向も高まったが、食の簡便化から家庭用カット野菜などは定着し、冷凍野菜需要も大きく伸張した。

一般青果物価格補償事業への加入促進の取組みは、水田における園芸作物への作付転換による生産拡大を見据え、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」の戦略品目と全農宮城県本部の生産振興品目を加えた「生産拡大品目（補給金交付率 100%）」において、令和 5 年度は 3 品目（えだまめ、ほうれんそう、レタス）が補給金交付対象となった。また補給金対象期間を令和 5 年度から令和 7 年度まで継続的に取組み、事務負担金の見直しも実施して収支改善に取り組んだ。

令和 3 年度に引き続き、生産者の事務負担金が減免される県の一般青果物価格安定対策加入促進事業を活用し、きゅうり（127 トン）、たまねぎ（76.9 トン）の予約申込数量は増加に転じたが、トマト大型法人の栽培中止により、全体では前年を 46.9 トン下回る予約数量となった。

一般青果物補給金の交付状況は、昨年度を大きく下回る 9,178 千円（前年比 71%）となった。

春は気温高と梅雨明け以降は夏猛暑と翌早春の低温と燃料高も影響し、出荷量は減少となり市場価格は高値基調で基準単価は上回り、近年にない平年を下回る補給金となった。

2. 青果物の取扱実績

令和 5 年度全農宮城県本部青果物取扱高は、12,235 百万円（前年比 99%）となった。

品目別では、野菜計（菌茸含む）数量 21,064 トン（前年比 86%）、金額 7,268 百万円（前年比 99%）の取扱となった。主力のきゅうりは、数量 6,330 トン（前年比 98%）となり、数量は前年を下回るも、価格は（前年比 110%）と前年を上回ったため、金額は（前年比 100%）と前年並みとなった。

果実は、数量 3,460 トン（前年比 87%）、金額 4,313 百万円（前年比 102%）、内訳として、いちごは、数量 2,782 トン（前年比 88%）、梨は、数量 616 トン（前年比 85%）の出荷量となり、気候変動に左右され青果物全体で数量減となるが、価格高により金額を押し上げた。

3. 補給金の交付状況および交付実績について

生産農家の経営安定と再生産の確保等を図るため、卸売市場の販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補償事業」で10品目（前年17品目）、「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」は1品目（前年2品目）が交付対象となった。

また、受託事業の「指定野菜価格安定対策事業」は、2品目（前年5品目）について補給金交付対象となった。

(1) 一般青果物価格補償事業 …… 表1

ア. 交付額合計は、9,178,877円（前年比71.5%）、交付予約数量7,988.5トﾝ（前年比99.8%）に対し、交付対象数量294.8トﾝ（前年比36.6%）となった。

イ. 野菜は、交付順に「えだまめ」「こまつな」「ほうれんそう」「しゅんぎく」「トマト」等が交付対象となり、上位2品目で交付額の60%を占めた。

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 … 表2

交付対象品目は1品目となり、交付額「ほうれんそう」2,297円が交付された。

(3) 受託事業

ア. 指定野菜価格安定対策事業 … 表3

(ア) 交付額合計は、140,000円（前年870,000円）で交付予約数量4,709トﾝ（前年4,727トﾝ）に対し、交付対象数量4.8トﾝ（前年260トﾝ）となった。

(イ) 交付対象品目は、夏秋なす、秋冬ねぎが対象となった。

イ. 大規模契約栽培産地育成強化支援事業（旧端境期等対策産地育成強化支援事業）

(ア) 補助金（事務費）受入：247,300円（令和5年4月20日）

(イ) 支援事業対象品目：たまねぎ

ウ. 野菜価格安定事業適正化推進

(ア) 野菜の生産出荷等状況調査 … 夏秋トマト（東松島市）、ほうれんそう（涌谷町）
きゅうり（蔵王町）

(イ) 現地調査回数：年4回（各品目）

(ウ) 事業の普及にかかる説明会の開催 … 野菜制度説明会：年1回（令和5年8月29日）

表 1 一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額 (円)		前年比 (%)	対象品目	品目数	交 付 年月日
	R 4 年度	R 5 年度				
4 月	468,312	0	-		0	-
5 月	398,717	0	-		0	-
6 月	142,413	76,832	54.0	ブロッコリー	1	R5.8.21
7 月	720,860	2,420,000	335.7	えだまめ	1	R5.9.21
8 月	653,960	389,752	59.6	えだまめ	0	R5.10.20
9 月	1,678,025	0	-		0	-
10 月	505,106	0	-		0	-
11 月	5,122,170	2,426,806	47.4	こまつな、ほうれんそう、レタス、ちんげんさい、みず菜、はくさい	6	R6.1.19
12 月	2,889,144	616,630	21.3	こまつな、しゅんぎく	2	R6.2.21
1 月	234,526	3,048,376	1299.8	こまつな、トマト、ほうれんそう	3	R6.3.21
2 月	0	200,481	-	こまつな、ちんげんさい	2	R6.4.19
3 月	30,269	0	-		0	-
合計	12,843,502	9,178,877	71.5		10	-

表 2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額 (円)		前年比 (%)	R 5 年度 交付年月日
		R 4 年度	R 5 年度		
ほうれんそう(東北)	R5 年 10 月 1 日～12 月 31 日	0	2,297	-	R6.3.1
ほうれんそう(東北)	R6 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	23,619	0	-	-
しゅんぎく (東北)	R6 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	17,913	0	-	-
しゅんぎく (関東)	R6 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	0	0	-	-
合計		41,532	2,297		

表3 指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金額 (円)		R5年度 交付年月日
対象品目	対象出荷期間	対象市場	産地区分	R4年度	R5年度	
冬春きゅうり	5月～6月	東北	I	0	0	
		東北	III	0	0	
		関東	I	0	0	
春キャベツ	5月～6月	東北	I	84,000	0	
		関東	I	12,000	0	
ほうれんそう	4月～6月	東北	I	0	0	
夏秋きゅうり	7月～9月	東北	I	0	0	
		関東	I	0	0	
夏秋トマト	7月～9月	東北	I	0	0	
夏秋トマト	10月～11月	東北	I	6,000	0	
夏秋キャベツ	7月～10月	東北	II	2,000	0	
		関東	II	20,000	0	
夏秋なす	7月～9月	東北	I	7,000	0	
夏秋なす	10月～11月	東北	I	0	80,000	R6. 1. 25
ほうれんそう	7月～9月	東北	I	0	0	
秋冬ねぎ	10月～12月	東北	I	528,000	60,000	R6. 2. 22
秋冬ねぎ	1月～3月	東北	I	107,000	0	
ほうれんそう	10月～12月	東北	I	104,000	0	
ほうれんそう	1月～3月	東北	I	0	0	
冬春きゅうり	3月～4月	東北	I	0	0	
事業計			東北	838,000	140,000	
			関東	32,000	0	
			計	870,000	140,000	

表4 参考 年次別補給金推移

年度	補給金額 (円)		
	一般青果物 価格補償事業	特定野菜等供給産地 育成価格差補給事業	指定野菜価格 安定対策事業
H28年度	17,399,557	142,491	-
H29年度	22,770,374	0	-
H30年度	26,487,677	309,543	-
R元年度	23,319,898	77,797	2,025,000
R2年度	20,363,653	78,518	461,000
R3年度	40,833,665	0	11,734,000
R4年度	12,843,502	41,532	870,000
R5年度	9,178,877	2,297	140,000